

LGBTなど性的マイノリティに関する用語解説



「性的マイノリティ（性的少数者）」とは…？

同性が好きな人や、自分の性に違和感を覚える人、または性同一性障害などの人々のことをいいます。

(1) 性を構成する要素

性にはさまざまな要素があり、その組み合わせによって、さまざまなセクシュアリティ（性のあり方）がかたちづくられています。性のあり方は、人が自然に持っているもので、この組み合わせは多様で、一人ひとりが少しずつ違います。

身体の性（生物学的性） 外性器、内性器、性染色体、性ホルモン分泌などにみられる生物学的特徴によるもの	心の性（性自認） 自分がどの性別であるかの認識
好きになる性（性的指向） 恋愛感情や性的な関心の対象がどの性別に向いているか	表現する性（性別表現） 服装、しぐさ、言葉遣いなど

《具体例》

身体の性 （生物学的性）	戸籍に記載されている性別を指します。インターセックスのように、生まれつき男女両方の特徴を兼ね揃える人やどちらかの特徴もない人もいます。
心の性 （性自認）	「男性」、「女性」、「男性と女性のどちらでもある」、「どちらでもない」といった自分がどの性別であるかの認識のことです。 生物学的性別と一致する人もいれば、一致しない人もいます。
好きになる性 （性的指向）	恋愛感情や性的な関心の対象が、どの性別に向いているかを示すものです。異性愛、同性愛、両性愛などがあります。 異性愛と一言でいっても100%異性に向いているかは人それぞれであり、性的指向も多様です。また、恋愛感情や性的な関心がいかなる性別の人にも向かないということもあります。 性的指向も治療で変えることはできません。同性愛が病気であるという認識は医学上否定されています。
表現する性 （性別表現）	性別に関する服装、髪型、しぐさ、言葉づかいなどの表現のことです。 性自認と一致することが多いですが、一致しないこともあります。

(2) SOGI (ソジ) と LGBT (エル・ジー・ビー・ティー)

SOGIとは、性的指向 (Sexual Orientation) と性自認 (Gender Identity) の頭文字をとった言葉です。LGBTなどの性的マイノリティの方に限らず、すべての人に関わる概念として認識することが大切です。

LGBTとは、レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーの頭文字をとって組み合わせた総称語です。

LGBは、性的指向に関するマイノリティで、**T**は性自認に関するマイノリティです。一人ひとりのセクシャリティ (性のあり方) は、性的指向や性自認などさまざまな要素の組み合わせによって形作られます。

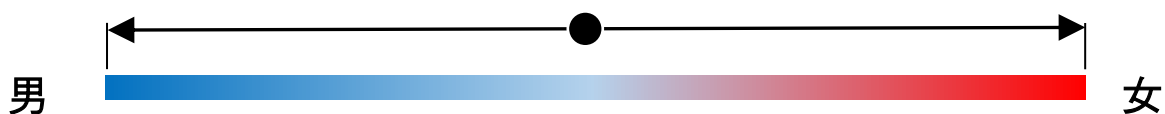
例えば、トランスジェンダーであり異性愛者の人、トランスジェンダーでありレズビアン・ゲイ、またはバイセクシャルの人もあります。

他にも、LGBTという言葉だけでは包含できないほど、多様な性のあり方が存在します。

性的指向 (SO)			性自認 (GI)
恋愛感情や性的な関心の対象が、どの性別に向いているか			自分がどの性別であるかの認識
L レズビアン	G ゲイ	B バイセクシャル	T トランスジェンダー
Lesbian 女性を好きになる女性	Gay 男性を好きになる男性	Bisexual 異性を好きになることもあれば同性を好きになることもある人	Transgender 出生時に割り当てられた性別に違和感を感じながらも生きざるを得ない人 (トランスジェンダーの定義には幅があります) 性同一性障害を含みます。

【性はグラデーション】

性のあり方は男性・女性のどちらかに限定されるものではなく、身体の性、心の性、好きになる性、表現する性について、グラデーションの中間の人もあります。



(3) 性的マイノリティに関するその他の用語

エックスジェンダー (X)	性自認が時として揺れ動く人、どちらかに決めたくない人
アセクシュアル (A)	他人に恋愛感情を抱かない人
クエスチョニング (Q)	性自認や性的指向が明確ではない人
インターセックス	生物学上の性発達が非典型な場合を指す。医学的にはDSD (Disorders of Sex Development) と呼ばれ、性的指向や性自認の悩みとは異なる。
LGBTQ	LGBTにQ (クエスチョニング (Questioning) またはクィア (Queer) の頭文字) を加えた言葉。多様なセクシュアリティを表す「LGBTs」という言葉もある。
シスジェンダー	出生時に割り当てられた性別に特に違和感を感じない人
ヘテロセクシュアル	異性愛者 (心の性が女性で男性を好きになる人、心の性が男性で女性を好きになる人)

性的マイノリティの割合 民間企業が実施した「LGBT 調査 2018」によると、性的マイノリティの割合は 8.9%、約 11 人に 1 人という結果が出ています。
これは、例えば左利きの人や、AB 型の人との割合とほぼ同じくらいです。

(4) レインボーフラッグ



レインボーフラッグは、赤 (生命)、橙 (癒し)、黄 (太陽)、緑 (自然)、藍 (平穏・調和)、紫 (精神) の 6 色のフラッグです。
性的マイノリティの尊厳と社会運動の象徴とされ、久喜市では、性的マイノリティの方やその家族に寄り添う気持ちを表明するため、各市庁舎の総合窓口などに設置しています。

1 性自認とは……

「男性」、「女性」、「どちらでもある」、「どちらでもない」のように、自分がどの性別であるかの認識のことです。

2 性的指向とは……

恋愛感情や性的な関心の対象が、どの性別に向いているかを示すものです。“性的嗜好”とは意味が異なります。

3 アライ(Ally)とは……

アライ(Ally)とは、アライアンス(Alliance)からきた言葉です。アライアンスは同盟、アライは支援者という意味の英語です。性的マイノリティを理解し、支援する人たちのことをいいます。

4 アウティングとは……

性的指向や性自認などを本人の了解なく第三者に明かしてしまうことです。アウティングは本人の心身に深刻な被害を与えるため、絶対にしてはいけません。

5 性的マイノリティとは…… (⇒用語解説(2) SOGIとLGBTの図参照)

同性が好きな人や、同性を好きになることもあれば異性をを好きになることもある人、出生時に割り当てられた性別に違和感(性同一性障害を含む)を感じながらも生きざるを得ない人々のことです。「セクシュアル・マイノリティ」、「性的少数者」ともいいます。

6 カミングアウトとは……

自ら性的マイノリティであることを他者に告白することをいいます。

7 パートナーシップ制度とは……

同性同士またはどちらか一方が性的マイノリティのカップルなどが自治体に二人の関係(パートナーシップ関係)を宣誓し、自治体が証明書を発行する制度です。婚姻制度と同等の権利や義務はありませんが、パートナーシップ制度を利用することで、例えば、賃貸住宅への入所申し込みや、生命保険の受取人、携帯電話の家族割引、病院での手術の際の同意の取り扱いが、親族と同様になるなどの取り組みが広がっています。

※令和2年6月30日現在、51の自治体でパートナーシップ制度を導入しています。